

様式第十三（第五十八条第四項関係）

要措置区域台帳（区域指定解除により消除）

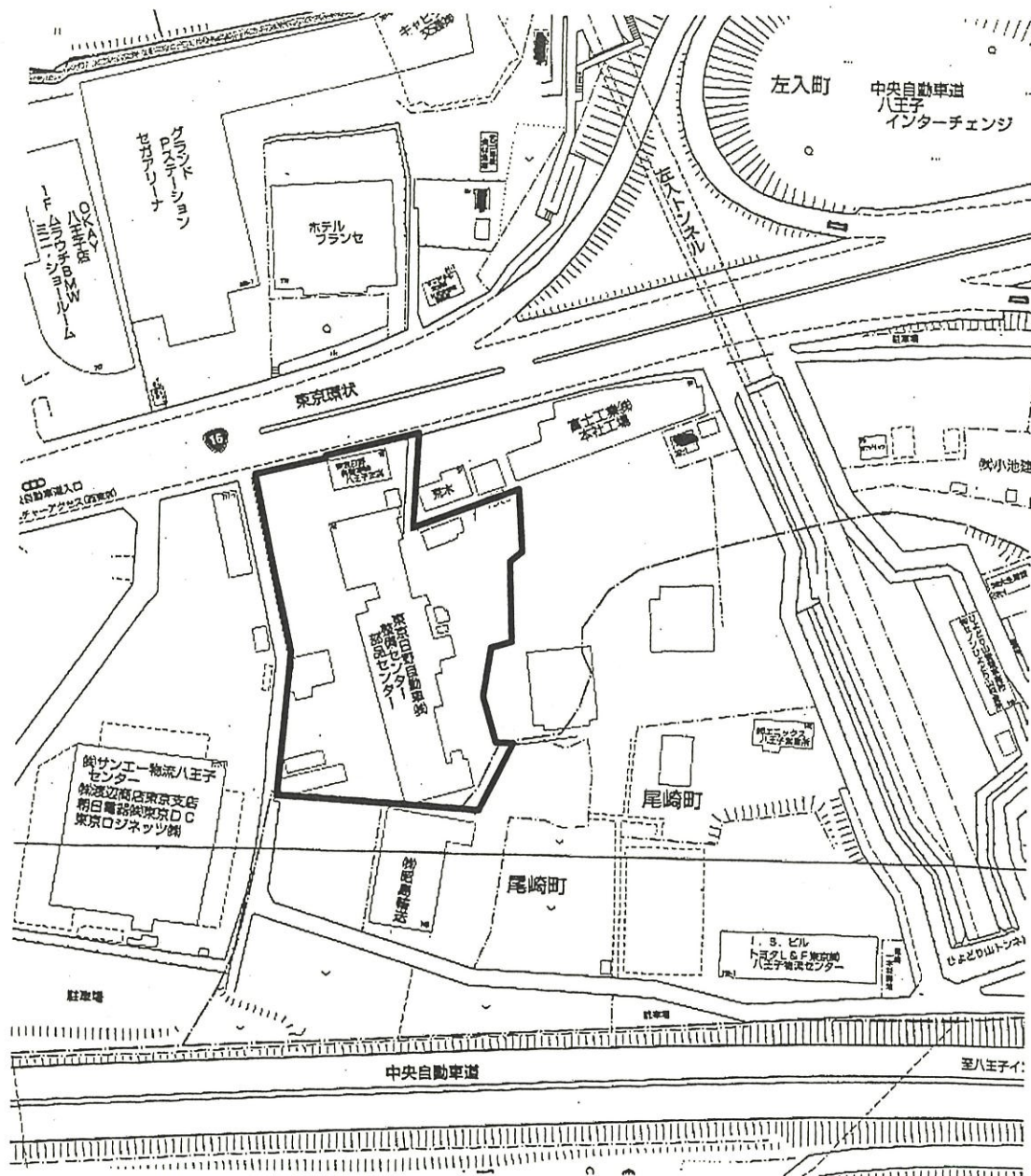
八王子市

整理番号	整-27-1	指定年月日・指定番号	平成27年9月16日・要-6	所在地	八王子市左入町52-1の一部、54-1の一部	
調製・訂正年月日	平成27年9月16日 調製、平成27年12月2日 訂正（指定解除）					
要措置区域の概況	工場用地				面積	100 m ²
地下水汚染の有無（土壌溶出量基準不適合の場合）				有・ <u>無</u>		
法第14条第3項の規定に基づき指定された要措置区域にあっては、その旨				法第14条の申請に基づく指定		
土壌汚染のおそれの把握等、試料採取等を行う区画の選定等又は試料採取等を省略した土壌汚染状況調査の結果により指定された要措置区域にあっては、その旨及び当該省略の理由				—		
要措置区域内の土壌の汚染状態	報告受理年月日	指定に係る特定有害物質の種類		適合しない基準項目		指定調査機関の名称
	平成27年8月25日	六価クロム化合物		含有量基準・ <u>溶出量基準</u> ・第二溶出量基準		(株)フィールド・パートナーズ
				含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準		
				含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準		
				含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準		
				含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準		
土地の形質の変更の実施状況	届出(着手)時期	完了時期	土地の形質の変更の種類	実施者	土壌搬出	汚染土壌の処理方法
	平成27年9月24日 (平成27年10月14日)	平成27年10月23日	掘削除去及び埋戻し	日野ゼールサポート(株)	<u>有</u> ・無	分別
					有・無	
					有・無	
					有・無	

備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

2 「要措置区域内の土壌の汚染状態」については、土壌その他の試料の採取を行った日、当該試料の測定の結果等を記載した書類を添付すること。

申請に係わる土地の周辺地図



(株式会社ゼンリン複製許諾番号 Z13K-第151号)

起点

【鉛・ふっ素・六価クロム・カドミウム】

表層土壌調査地点

- 5地点均等混合法：11エリア (48地点)
- 単地点分析 26地点
- の分析項目は第二種特定有害物質全9項目、第三種特定有害物質全5項目とします

配管下土壌調査地点

○ 単地点分析 21地点

ボーリング調査地点 (深度5m)

○ 単地点分析 2地点

□ 土壌入替範囲 2範囲

凡例

- 工場敷地 (面積：16,025.58㎡)
- 形質変更する範囲 (面積：8,040.82㎡)
- 解体建物
- 上屋解体のみ実施する建物 (2棟)
- 排水ライン

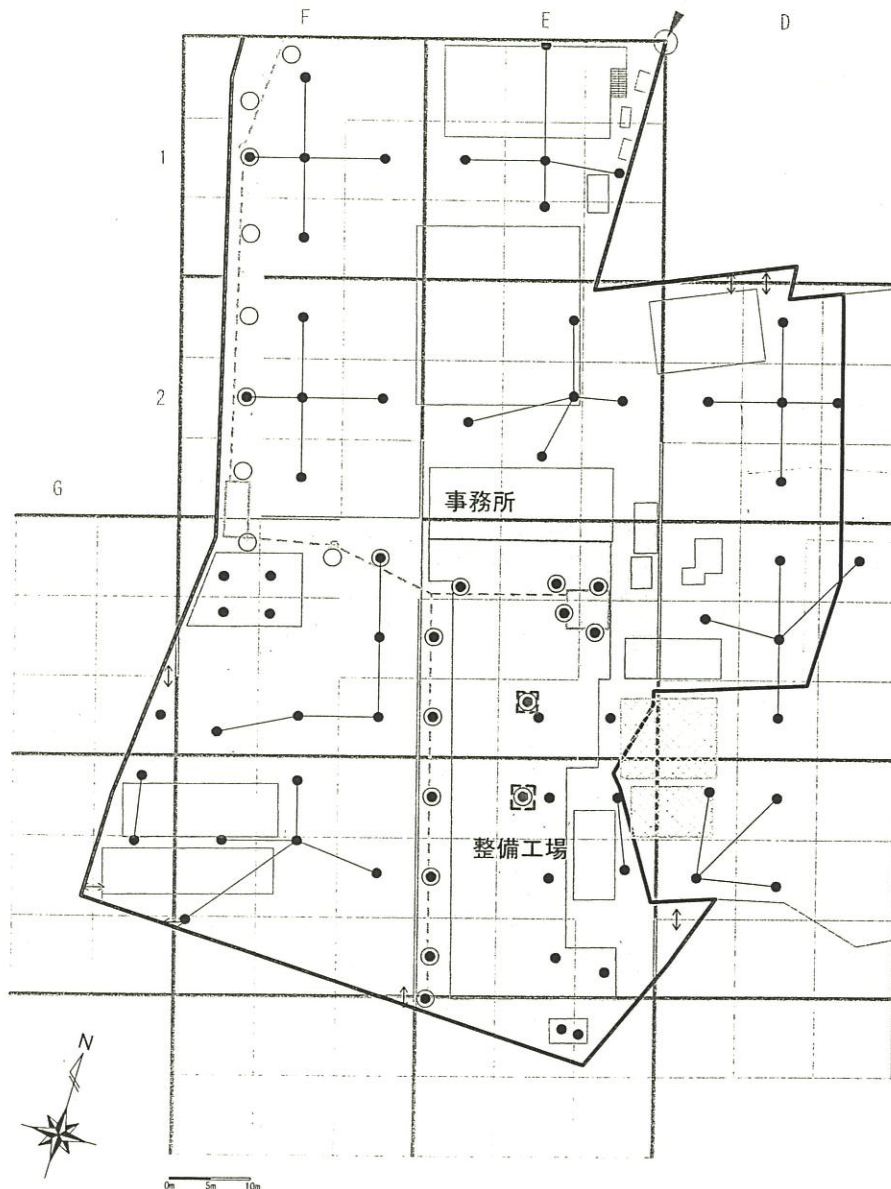
↔ 統合区画 (130㎡以下)

A

1	2	3
4	5	6
7	8	9

1

旧塗装・洗浄工程による土壌汚染が存在するおそれが比較的多いと認められる土地を含む単位区画



株式会社フィールド・パートナーズ

プロジェクト名

東京日野自動車株式会社八王子支店における土壌汚染状況調査 (概況調査)

タイトル

調査地点図

図番

図-1.2

---起点

E3-4	
鉛	
深 度	含有量 (mg/kg)
表層 (0~0.5m)	160
0.6m	27
1.0m	19
2.0m	16

【表層土壌調査】

- 5地点均等混合法：11エリア (48地点)
- 単地点分析 26地点

配管下土壌調査地点

- 単地点分析 21地点

ボーリング調査地点 (深度5m)

- 単地点分析 2地点

【10mボーリング調査地点】

- 鉛 (含有量) 1地点
六価クロム (溶出量) 1地点

【基準不適合単位区画】

鉛 (含有量)
含有量基準：150mg/kg以下

六価クロム (溶出量)
溶出量基準：0.05mg/L以下

地点名	
物質名	
深度	溶出量/含有量 (mg/L) (mg/kg)

赤字値：基準不適合を示す。
斜体：既往調査結果を示す。

↔ 統合区画 (130㎡以下)

A

1	2	3
4	5	6
7	8	9

1

凡例

- 工場敷地 (面積：16,025.58㎡)
- 形質変更する範囲 (面積：8,040.82㎡)
- 解体建物
- 上屋解体のみ実施する建物 (2棟)
- 排水ライン

2

3

4

5

E3-5	
六価クロム	
深 度	溶出量 (mg/L)
表層 (0~0.5m)	0.19
0.6m	0.12
1.0m	<
2.0m	<
地下水	<

